

*当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | |
|--------|--|
| 商品分類 | 追加型投信／海外／その他資産（商品先物）／インデックス型 |
| 信託期間 | 2009年2月16日から2022年12月5日まで |
| 運用方針 | 世界の代表的商品市況を表すUBSブルームバーグCMCI指数WTI原油指数（円換算ベース）に概ね連動し、WTI原油の先物指数の動向を反映する投資成果を目指して運用を行います。 |
| 主な運用対象 | 世界の代表的商品市況を表すUBSブルームバーグCMCI指数のWTI原油指数に価格が連動する上場投資信託証券を含む有価証券を主要投資対象とします。 |
| 主な投資制限 | ・株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 |
| 分配方針 | 毎決算時に、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益の中から市況動向等を考慮して分配金額を決定します。ただし、分配を行わない場合があります。留保益の運用については特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。 |

UBS原油先物ファンド

第12期 運用報告書（全体版）
決算日 2020年12月7日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「UBS原油先物ファンド」は、去る12月7日に第12期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

UBSアセット・マネジメント株式会社

東京都千代田区大手町1-5-1

大手町ファーストスクエア イーストタワー

<お問い合わせ先>

投信営業部

03-5293-3700

<受付時間>

営業日の午前9時～午後5時、土、日、祝日除く

<http://www.ubs.com/japanfunds>

© UBS 2021. キーシンボル及びUBSの各標章は、UBSの登録又は未登録商標です。UBSは全ての権利を留保します。

最近5期の運用実績

| 決算期 | 基準価額 | 税込み 分配金 | 期中 騰落率 | ベンチマーク UBSブルームバーグ CMCI指数WTI原油指数 (円換算ベース) | | 債券組入 比率 | 債券先物 比率 | 投資信託 証券組入 比率 | 純資産 総額 |
|-----------------|---------|------------|-----------|---|-----------|------------|------------|--------------------|-----------|
| | | | | 期中 騰落率 | 期中 騰落率 | | | | |
| 8期(2016年12月5日) | 円 8,847 | 円 0 | % △ 3.9 | 10,287.56 | % △ 2.3 | % 97.8 | % - | % - | 百万円 6,846 |
| 9期(2017年12月5日) | 8,697 | 0 | △ 1.7 | 10,261.03 | △ 0.3 | - | - | 99.5 | 3,796 |
| 10期(2018年12月5日) | 8,957 | 0 | 3.0 | 10,748.12 | 4.7 | - | - | 98.8 | 2,095 |
| 11期(2019年12月5日) | 9,107 | 0 | 1.7 | 11,138.64 | 3.6 | - | - | 99.5 | 2,157 |
| 12期(2020年12月7日) | 6,566 | 0 | △27.9 | 8,196.48 | △26.4 | - | - | 100.0 | 13,541 |

(注1) 基準価額は1万口当たり。

(注2) 債券先物比率は買建比率-売建比率。

(注3) UBSブルームバーグCMCI指数WTI原油指数(円換算ベース)はUBSブルームバーグCMCI指数のWTI原油指数を委託会社において円換算。ベンチマークは設定日を10,000として指数化。

(注4) 債券組入比率及び投資信託証券組入比率は、当ファンドの追加・解約と有価証券売買の計上タイミングがずれること等により、一時的に100%超の数値となる場合があります。(以下同じ)

当期中の基準価額等の推移

| 年月日 | 基準価額 | | ベンチマーク | | 債券組入 比率 | 債券先物 比率 | 投資信託 証券組入 比率 |
|--------------------|---------|-------|-----------|-------|------------|------------|--------------------|
| | 騰落率 | 騰落率 | 騰落率 | 騰落率 | | | |
| (期首) 2019年12月5日 | 円 9,107 | % - | 11,138.64 | % - | % - | % - | % 99.5 |
| 12月末 | 9,622 | 5.7 | 11,785.78 | 5.8 | - | - | 99.6 |
| 2020年 1月末 | 8,477 | △ 6.9 | 10,394.24 | △ 6.7 | - | - | 99.6 |
| 2月末 | 7,921 | △13.0 | 9,723.42 | △12.7 | - | - | 99.6 |
| 3月末 | 5,194 | △43.0 | 6,414.12 | △42.4 | - | - | 98.5 |
| 4月末 | 4,216 | △53.7 | 5,181.37 | △53.5 | - | - | 103.9 |
| 5月末 | 5,575 | △38.8 | 6,871.22 | △38.3 | - | - | 99.6 |
| 6月末 | 6,223 | △31.7 | 7,686.69 | △31.0 | - | - | 99.6 |
| 7月末 | 6,188 | △32.1 | 7,651.23 | △31.3 | - | - | 99.6 |
| 8月末 | 6,627 | △27.2 | 8,206.39 | △26.3 | - | - | 99.7 |
| 9月末 | 6,069 | △33.4 | 7,525.28 | △32.4 | - | - | 99.8 |
| 10月末 | 5,533 | △39.2 | 6,870.25 | △38.3 | - | - | 100.4 |
| 11月末 | 6,552 | △28.1 | 8,144.67 | △26.9 | - | - | 100.1 |
| (期末) 2020年12月7日 | 6,566 | △27.9 | 8,196.48 | △26.4 | - | - | 100.0 |

(注1) 基準価額は1万口当たり。

(注2) 騰落率は期首比です。

(注3) 債券先物比率は買建比率-売建比率。

(注4) UBSブルームバーグCMCI指数WTI原油指数(円換算ベース)はUBSブルームバーグCMCI指数のWTI原油指数を委託会社において円換算。ベンチマークは設定日を10,000として指数化。

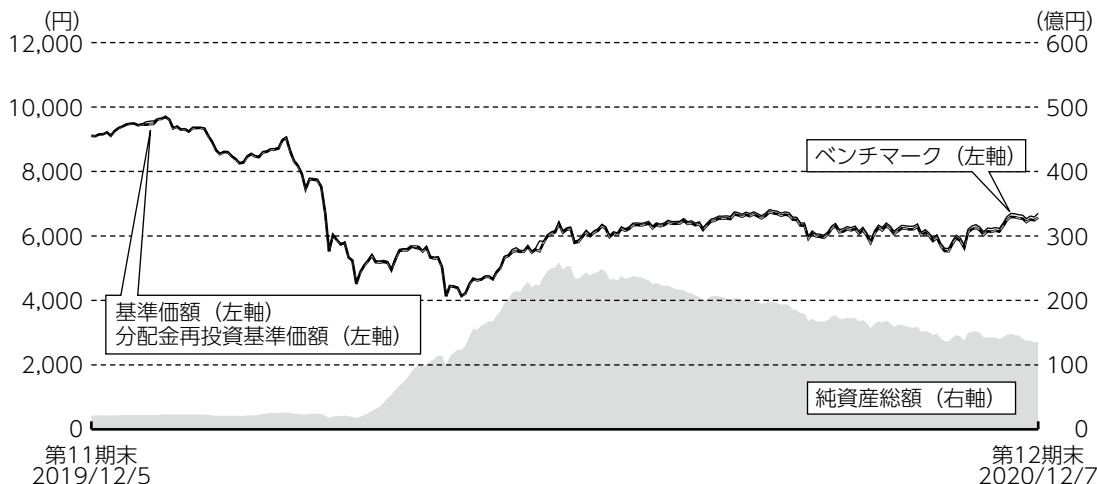
UBSブルームバーグCMCI指数WTI原油指数

UBSブルームバーグCMCI指数WTI原油指数に関する著作権、およびその他知的財産権はUBSおよびBloombergに帰属しており、UBSの許諾なしにデータを複製・頒布・使用等することは禁じられております。UBS AGまたはその関係会社(以下、UBSという)が情報提供のみを目的として作成したものであり、指数構成銘柄への投資を推奨するものではありません。UBSは、情報の正確性および完全性を保証するものではなく、UBSは当指数の利用に伴ういかなる責任も負いません。

運用経過

基準価額等の推移について

(2019年12月5日～2020年12月7日)



第12期首：9,107円

第12期末：6,566円 (既払分配金 0円)

騰落率：-27.9% (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、期首の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

基準価額は期首比で2,541円値下がりしました。なお、基準価額の騰落率は-27.9%となりました。

ベンチマークについて

ベンチマークとは、ファンドの運用を行うに当たり、運用目標の基準あるいはパフォーマンスを評価するための基準です。なお、当ファンドのベンチマークは「UBSブルームバーグCMCI指数WTI原油指数」を委託会社において円換算した「UBSブルームバーグCMCI指数WTI原油指数(円換算ベース)」です。また、当ファンドはベンチマークに概ね連動する投資成果を目指して運用を行います。

※UBSブルームバーグCMCI指数のWTI原油指数は、UBSとBloombergが開発した世界の代表的商品先物指数であるUBSブルームバーグCMCI総合指数におけるWTI原油を独立して指数化したもので、商品市況におけるWTI原油の先物指数動向を反映する指数です。なお、Constant Maturity Commodity Index Family (CMCI: コンスタント・マチュリティ・コモディティ商品指数)に関する著作権、およびその他知的財産権はUBSおよびBloombergに帰属します。

基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は、主にベンチマークが下落したことにより値下がりしました。ベンチマークが下落したのは、WTI原油先物指数の下落などのマイナス要因が、その他のプラス要因を上回ったことによるものです。

投資環境について

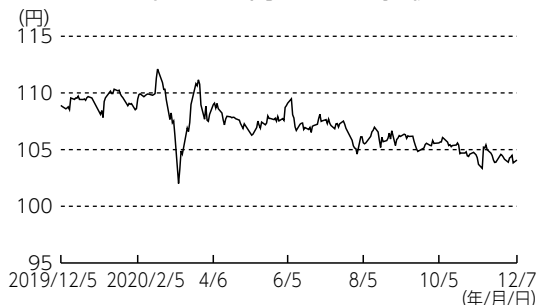
当期のUBSブルームバーグCMCI指数WTI原油指数（米ドルベース）は大幅に下落しました。

期の序盤、米国と中国が「第1段階」の通商合意に至ったことなどを背景に、WTI原油価格は底堅く推移しました。しかし、2020年序盤、中国で発生した新型コロナウイルスの感染拡大をめぐる先行き不透明感などが嫌気されて、WTI原油価格は下落に転じました。その後も、新型コロナウイルスの感染が世界規模で急速に拡大し、世界経済の減速懸念やそれに伴う原油需要の悪化見通しなどから、WTI原油価格は下げ足を強めました。4月下旬、原油需要の低迷により、米国原油貯蔵施設の能力の限界に近いとの市場における警戒感の高まりを受けて、WTI原油価格は史上初のマイナス水準まで急落しましたが、すぐにプラス圏まで持ち直しました。5月以降は、都市封鎖において段階的な緩和措置の動きが世界中で広がる中、経済活動再開による原油需要の回復期待のほか、石油輸出国機構（OPEC）加盟国と非加盟国からなる「OPECプラス」が6月以降も協調減産を継続すると期待感などを材料に、WTI原油価格は期の半ばにかけて急回復しました。期の後半、新型コロナウイルスのワクチン開発の進展期待や、経済活動の正常化への期待感などが下支えとなった一方で、米中対立の激化懸念、欧米などでの新型コロナウイルスの感染再拡大による規制強化の動きなど、強弱の材料が交錯し、WTI原油価格は方向感の乏しい展開となりました。期の終盤、米大統領選および上下両院議会選を経て政治的不透明感の後退などから、市場でリスク選好の動きが強まったことや、新型コロナウイルスのワクチンの臨床試験において高い有効性が確認されたとの報道が好感されて、今後の原油の需給改善への期待感などから、WTI原油価格は幾分反発しました。しかし、結局、前期末比で大きく下落して期を終えました。

なお、当ファンドのベンチマークであるUBSブルームバーグCMCI指数WTI原油指数（円換算ベース）は、期首比で大幅に下落しました。

当期の為替相場（米ドル/円）は、前期末比で米ドル安・円高となりました。期初、108円台後半でスタートした米ドル/円相場は、米国追加経済対策における与野党協議の難航のほか、新型コロナウイルスの感染再拡大にともなう経済活動の制限の動きや、米連邦準備制度理事会（FRB）のパウエル議長が金融緩和策の長期化を示唆したことなどを背景に、米ドル/円相場は、概ね米ドル安・円高で推移した結果、104円台前半で期末を迎えました。

米ドル/円レートの推移

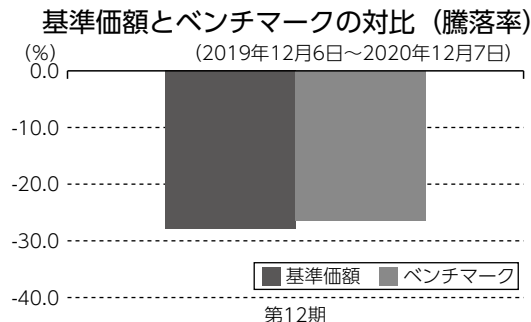


ポートフォリオについて

上場投資信託証券を高位に組入れ、ベンチマークに概ね連動する投資成果を目指して運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当期中の騰落率は、基準価額の-27.9%に対してベンチマークが-26.4%となり、基準価額の騰落率はベンチマークの騰落率を1.5%下回りました。基準価額の騰落率がベンチマークの騰落率を下回った主な要因は、当ファンドで流動性確保のために資産の一部を短期金融資産で運用したこと、設定・解約に伴う資金の出入りと上場投資信託証券の売買のタイミングがずれたこと、当ファンドで信託報酬・信託財産の管理に要する費用（保管費用、租税等を含みます。）を負担したことなどです。



(注) 基準価額の騰落率は分配金再投資ベース

分配金について

当期は、市況動向等を勘案し分配は行いませんでした。なお、分配にあてなかった利益につきましては、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳 (1万口当たり・税引前)

| 項目 | 第12期 |
|-----------|-----------------------|
| | 2019年12月6日～2020年12月7日 |
| 当期分配金 | -円 |
| (対基準価額比率) | (-%) |
| 当期の収益 | -円 |
| 当期の収益以外 | -円 |
| 翌期繰越分配対象額 | 5,508円 |

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は、「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

今後の運用方針

投資環境の見通し

原油価格に影響を及ぼす要因として、世界各国のマクロ経済指標や景気動向、原油の需給、為替の変動、地政学的リスクといった政治情勢などを引き続き注視していく方針です。米国では2021年1月にバイデン新政権が発足しますが、新政権における政策動向を注視するほか、今後も新型コロナウイルスの感染状況やワクチン開発をめぐる動きなど、各種要因が市場に及ぼす影響についても、留意してまいります。

今後の運用方針

今後も引き続き上場投資信託証券を高位に組入れ、ベンチマークに概ね連動する投資成果を目指して運用を行います。

1万口当たりの費用明細

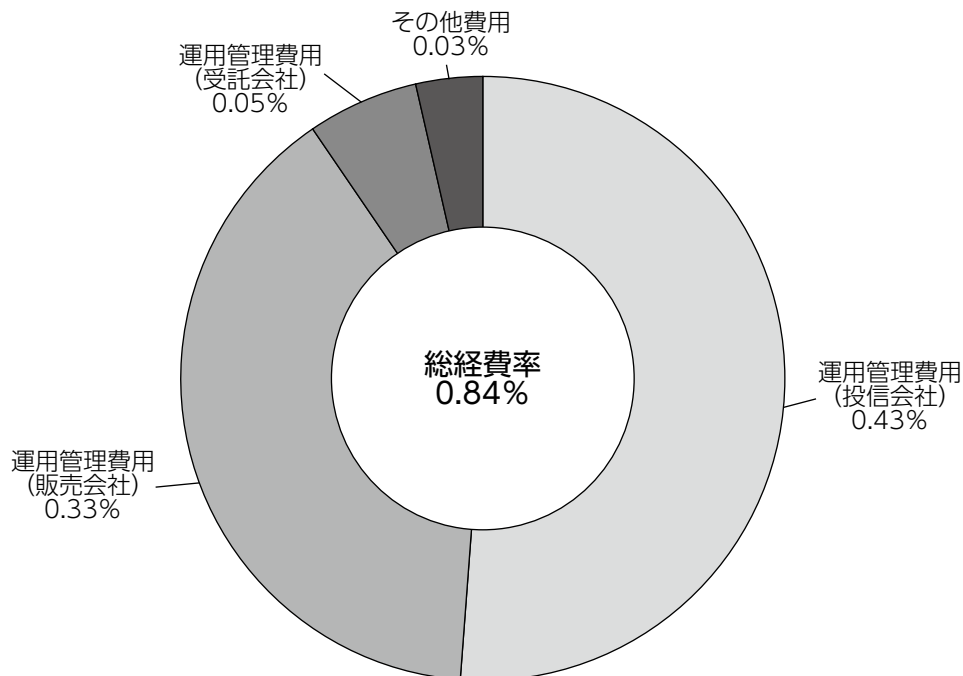
| 項目 | 当期 2019/12/6~2020/12/7 | | 項目の概要 |
|----------|---------------------------|---------|--|
| | 金額 | 比率 | |
| 信託報酬 | 53円 | 0.818% | 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額（月末値の平均）は6,516円です。 |
| （投信会社） | (28) | (0.431) | 委託した資金の運用の対価 |
| （販売会社） | (22) | (0.332) | 運用報告書等各種書類の交付、口座内でのファンドに係る管理、購入後の情報提供等の対価 |
| （受託会社） | (4) | (0.055) | 運用財産の管理、運用指図実行等の対価 |
| 売買委託手数料 | 11 | 0.163 | 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 |
| （投資信託証券） | (11) | (0.163) | 投資信託証券を取引所で売買する際に売買仲介人に支払う手数料 |
| その他費用 | 2 | 0.032 | その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 |
| （保管費用） | (1) | (0.022) | 海外保管銀行等に支払う海外資産等の保管・送金・受渡等に係る費用 |
| （監査費用） | (0) | (0.006) | 監査法人等に支払うファンド監査に係る費用 |
| （印刷費用等） | (0) | (0.002) | 法定開示書類作成の際に業者に支払う作成・印刷・交付等に係る費用（EDINET含む）等 |
| （その他） | (0) | (0.001) | 受益権の管理事務に関連する費用等 |
| 合計 | 66 | 1.013 | |

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報) 総経費率



(注1) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注2) 各比率は、年率換算した値です。

(注3) 上記の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.84%です。

期中の売買及び取引の状況 (自 2019年12月6日 至 2020年12月7日)

投資信託証券

| | | 買 付 | | 売 付 | |
|-----------------|----------------------------------|-----|--------------------|-----|-------------------|
| | | □ 数 | 金 額 | □ 数 | 金 額 |
| 外国 | | | | | |
| スイス | | | | | |
| | UBS ETF (CH) - CMCI Oil SF (USD) | □ | 千米ドル 11,505,527 | □ | 千米ドル 6,160,109 |
| 小 計 証 券 数 ・ 金 額 | | | 11,505,527 | | 124,652 |

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 単位未滿は切り捨て。

主要な売買銘柄 (自 2019年12月6日 至 2020年12月7日)

投資信託証券

| 買 | | 付 | | 売 | | 付 | |
|----------------------------------|-------|-----|------------------|----------------------------------|-------|-----------|------------------|
| 銘 | 柄 | □ 数 | 金 額 | 銘 | 柄 | □ 数 | 金 額 |
| UBS ETF (CH) - CMCI Oil SF (USD) | (スイス) | □ | 千円 11,505,527 | UBS ETF (CH) - CMCI Oil SF (USD) | (スイス) | □ | 千円 20,029,320 |
| | | | | | | 6,160,109 | 13,109,828 |

(注) 金額は受け渡し代金。(償還分は含まれておりません。)

利害関係人等との取引状況等 (自 2019年12月6日 至 2020年12月7日)

当期中の利害関係人等との取引はありません。

(注) 利害関係人等とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人等です。

組入資産明細表 (2020年12月7日現在)

外国投資信託証券

| 銘柄 | 期首 □数 | 当期末 | | | |
|---|------------------|-----------------|-----------------|------------------|------------|
| | | □数 | 評価額 | | 比率 |
| | | | 外貨建金額 | 邦貨換算金額 | |
| (スイス) UBS ETF (CH) - CMCI Oil SF (USD) | □ 694,189 | □ 6,039,607 | 千米ドル 130,168 | 千円 13,547,950 | % 100.0 |
| 合計 | □数・金額 694,189 | □数 6,039,607 | 130,168 | 13,547,950 | |
| | 銘柄数 <比率> | 1 | 1 | - | <100.0%> |

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) □数・評価額の単位未満は切り捨て。

(注4) -印は組み入れなし。

投資信託財産の構成

(2020年12月7日現在)

| 項目 | 当期末 | |
|--------------|------------------|-----------|
| | 評価額 | 比率 |
| 投資信託受益証券 | 千円 13,547,950 | % 96.0 |
| コール・ローン等、その他 | 568,218 | 4.0 |
| 投資信託財産総額 | 14,116,168 | 100.0 |

(注1) 金額の単位未満は切り捨て。

(注2) 当期末における外貨建純資産 (13,872,652千円) の投資信託財産総額 (14,116,168千円) に対する比率は98.3%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=104.08円です。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2020年12月7日現在)

| 項 目 | 当 期 末 |
|--------------------|-----------------|
| (A) 資 産 | 14,440,706,763円 |
| コ ー ル ・ ロ ー ン 等 | 86,001,267 |
| 投資信託受益証券(評価額) | 13,547,950,995 |
| 未 収 入 金 | 806,754,501 |
| (B) 負 債 | 899,360,201 |
| 未 払 金 | 324,670,676 |
| 未 払 解 約 金 | 496,621,040 |
| 未 払 信 託 報 酬 | 77,188,093 |
| 未 払 利 息 | 684 |
| そ の 他 未 払 費 用 | 879,708 |
| (C) 純 資 産 総 額(A-B) | 13,541,346,562 |
| 元 本 | 20,624,277,302 |
| 次 期 繰 越 損 益 金 | △ 7,082,930,740 |
| (D) 受 益 権 総 口 数 | 20,624,277,302口 |
| 1万口当たり基準価額(C/D) | 6,566円 |

〈注記事項〉

| | |
|-----------|-----------------|
| 期首元本額 | 2,368,517,564円 |
| 期中追加設定元本額 | 50,736,141,674円 |
| 期中一部解約元本額 | 32,480,381,936円 |
| 1口当たり純資産額 | 0.6566円 |

純資産総額が元本を下回っており、その差額は7,082,930,740円です。

損益の状況

(自2019年12月6日 至2020年12月7日)

| 項 目 | 当 期 |
|----------------------|-------------------|
| (A) 配 当 等 収 益 | △ 204,481円 |
| 支 払 利 息 | △ 204,481 |
| (B) 有 価 証 券 売 買 損 益 | 2,309,223,535 |
| 売 買 益 | 4,753,254,882 |
| 売 買 損 | △ 2,444,031,347 |
| (C) 信 託 報 酬 等 | △ 108,908,478 |
| (D) 当 期 損 益 金(A+B+C) | 2,200,110,576 |
| (E) 前 期 繰 越 損 益 金 | △ 51,129,398 |
| (F) 追 加 信 託 差 損 益 金 | △ 9,231,911,918 |
| (配 当 等 相 当 額) | (9,211,838,408) |
| (売 買 損 益 相 当 額) | (△18,443,750,326) |
| (G) 計 (D+E+F) | △ 7,082,930,740 |
| (H) 収 益 分 配 金 | 0 |
| 次 期 繰 越 損 益 金(G+H) | △ 7,082,930,740 |
| 追 加 信 託 差 損 益 金 | △ 9,231,911,918 |
| (配 当 等 相 当 額) | (9,211,838,408) |
| (売 買 損 益 相 当 額) | (△18,443,750,326) |
| 分 配 準 備 積 立 金 | 2,149,185,659 |
| 繰 越 損 益 金 | △ 204,481 |

- (注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益 (0円)、費用控除後の有価証券等損益額 (2,147,876,716円)、信託約款に規定する収益調整金 (9,211,838,408円) および分配準備積立金 (1,308,943円) より分配対象収益は11,361,024,067円 (10,000口当たり5,508円) ですが、分配を行っておりません。